

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 13-6
評価実施期間：平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 10 日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060881 050212 060792 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成 26 年 12 月現在）

事業所名：うつくしの里デイサービスセンター （施設名）	種別：通所介護
代表者氏名：理事長 大槻 憲雄 （管理者氏名）施設長 小岩井 一博	定員（利用人数）：35 名
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設年月日：平成 12 年 4 月 1 日
所在地：〒390-0221 長野県松本市大字里山辺字藤井 910 番地 1	
電話番号：0263-39-2266	FAX 番号：0263-39-39-2278
ホームページアドレス：www.ja-naganokai.or.jp/facilities/ringo/	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

1 < 理学療法士からの助言と指導 >

特別養護老人ホームは、本来リハビリテーションを主目的とした介護施設ではない。しかし当施設では PT(理学療法士)を専任職員として配置、利用者の機能維持に努めており、その点で他施設と大きな違いがある。当デイサービスはその特養に併設されていることもあり、PT からの助言・指導を容易に得ることができる環境にある。PT のアドバイスを受けて立案される機能維持訓練計画は、利用者の満足度の向上に十分に貢献している。

2 < 認知症ケアの充実 >

認知症対応型通所介護は認知症の人が地域とつながりながら自宅での安心のある穏やかな日々を可能な限り継続していくために、専門的な支援を提供することが求められている。そのために「住み慣れた環境」や「なじみの関係」「小規模な単位」といった視点でケアを行うことが望ましく、事業所では認知症ケアに向けて別ホール「いこいのひろば」を設置し、職員が「認知症について」研修に参加して認知症への理解を深め、物理的、人的環境を整備して認知症の専門的ケアに努めている。利用者はゆったりと穏やかに過ごされており、ご家族の安心や安定につながっている。

4 事業評価の結果と講評
共通項目（別添１）
内容評価項目（別添２）

5 利用者調査の結果
聞き取り方式の場合（別添３ - ２）

6 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（平成 27 年 3 月 11 日記載）

今年度は、うつくしの里が平成 7 年 4 月に開設してから 20 年を迎える節目の年となります。私達職員一同、今一度原点に立ち返り「うつくしの里の理念」に沿った施設運営に努めております。そのような折、第三者評価を受け客観的な観点から再評価されることにより、自分達では気付かなかった課題や改善点を再確認することができました。

今回、良い評価結果を頂きましたが、職員が日頃積み重ねてきた努力が形になって現れたという思いで大変励みとなりました。この結果に慢心することなく今後、更にサービスの質の向上を図ると共に事業所の情報を公表することにより「利用者本位の福祉サービスの提供」に努めて参ります。

この度、第三者評価を受けるに当たり、株式会社マスネットワークのスタッフの皆様には、現状に即した的確な評価をして頂きました事に感謝申し上げます。又、ご指摘頂いた事項についても真摯に受け止め、今後の事業運営にしっかり反映することで地域に貢献できる施設を目指して参ります。